

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	10 03 06	中期総合計画主要施策番号	5-09	担当課	部・課	建設部 道路管理課	
事業名	除雪・雪寒地域建設機械整備事業（公共・県単）				内線	3398	
					E-mail	michikanri@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S31 ~	根拠法令等	雪寒法 S47.1.10建設省機発496号等				
実施方法	・県が直接					国庫・県単	国庫補助事業・県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	・除雪体制を整え、冬期間の地域における産業振興や安全かつ円滑な道路交通の確保を図る。 ・道路除雪機械の計画的な更新、確保を図る。				
	対象	・県管理道路				
	目指すべき姿	・現状の除雪水準を保ち、冬期間の安全かつ円滑な道路交通を確保する。 ・県保有老朽化機械の更新を図り、除雪体制を確保し、冬期間の安全な道路交通を確保する。				
	事業内容	道路の除雪、及び凍結防止剤散布作業（補助率：【国】2/3、【県】1/3） 道路除雪のための除雪機械の購入（補助率：【国】2/3、【県】1/3）				

事業コスト	区分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 公共除雪費 = 1,928,370 千円 県単除雪費 = 2,852,817 千円 公共機械費 = 231,661 千円 1箇所当り平均工事期間：4.5ヶ月
	最終予算額 (A)		千円	4,949,144	5,012,848	3,273,750	
	決算額 (B)		千円	4,349,144	5,012,848	-	
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	3,085,581	3,516,848	2,091,250	
	概算人件費	従事する職員数	人	25.00	25.00	25.00	
		概算人件費 (C)	千円	-	-	-	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	4,349,144	5,012,848	3,273,750		

事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 (効率指標算出式) ・降雪1cm当たりの除雪コスト = 除雪事業費 ÷ 指定観測地点累加降雪深
	冬期交通確保(除雪)延長(活)		km	4,526	4,536	4,536	
	除雪機県保有台数(活)		台	593	628	640	
	除雪機県保有率(活)		%	45.7	47.2	47.7	
	<効率指標(単位当りコスト等)> 降雪1cm当たり除雪コスト		千円/cm	11,022	11,603	-	

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価			評価区分
	・現状の除雪レベルを保つ除雪計画を作成し、除雪及び凍結路面の解消を図る。 ・平成23年度は、老朽化した除雪機械の更新を13台実施。		・除雪基準の徹底等により、除雪計画に基づく除雪を行い、冬期間の道路交通を確保した。 ・13台の除雪機械を更新し、除雪体制の確保を図った。			b 期待どおり

事業の課題	区分	判定・説明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・高齢化の進展等に伴い、歩行者空間確保の要望は、増加している。 ・冬期路面確保に対する要請は高い。 ・民間保有機械の老朽化が進んでおり、今後保有台数の減少が見込まれ、除雪体制確保の検討をさらに進める。 ・道路法で県が行うこととされている。 ・経費の一層の縮減に取り組んでいる。 ・歩道除雪については、地域等との協働について検討する必要がある。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・除雪業務を担ってきた地元建設業者の中には、経営が悪化しオペレーターの確保や機械の保有、更新が困難な業者も多く、除雪体制の確保の検討をさらに進める。 ・安定的かつ持続的な除雪業務を確保するため、道路維持補修業務の民間委託と除雪業務との一体的発注を試行する。 ・除雪機械は、構造、使用期間等特殊な機械であることから、県が主体となり保有する必要がある、機械の更新、増強は除雪事業の円滑な執行のためには必要不可欠である。 ・歩道除雪については、地域との協働により除雪体制を整備する等の検討を行う必要がある。				
	特記事項					